

北海道武蔵女子短期大学 2021（令和3）年度入学者選抜について【予告】

2019年 4月25日

北海道武蔵女子短期大学

2021（令和3）年度入学者選抜においては、大学入試センター試験に代わり、大学入学共通テストが導入され、英語4技能を測る民間の資格・検定試験（以下、英語認定試験）の活用及び国語と数学の記述式問題の出題が予定されています。又、大学の個別学力試験についても学力の3要素を踏まえた、多面的・総合的評価による入試への転換が求められています。このような入試改革に関して本学の基本方針がまとまりましたので、下記の通りお知らせします。

1. 入試区分の名称変更について

現行の名称	2021（令和3）年度からの名称
指定校制推薦入試	学校推薦型（指定校制）選抜
一般入試（前期）	一般選抜（前期）
一般入試（後期）	一般選抜（後期）
大学入試センター利用入試	大学入学共通テスト利用選抜
海外帰国生徒特別入試	海外帰国生徒特別選抜
社会人特別入試	社会人特別選抜

2. 大学入学共通テストについて

高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的として、大学入学共通テストを利用する入学者選抜を実施します。

実施教科・科目は現行と同じ教科・科目とします。

3. 大学入学共通テストの記述式問題の活用について

国語の記述式問題の活用については、段階別評価を点数化し、マークシート式問題の点数に加点して合否判定に用いる予定です。具体的な方法等は、今後、大学入試センターが段階別評価に関する内容を発表した後、検討のうえ改めて公表します。

数学の記述式問題の活用については、正誤のみの判定であることと大問題の中でマークシート式問題と一体で出題され、配点もなされることから、従来のマークシート式と同様に合否判定に用います。

4. 英語認定試験*1の活用について

本学の一般選抜受験に当たっては、CEFRにおけるA2レベル以上の能力を備えていることが望ましいと考えています。ただし、出願に際して英語認定試験の受験とその結果提出を求めるものではありません。英語認定試験の受験とCEFRのA2レベルの成績を志願者全員に求める「出願要件」とはしません*2。又、英語認定試験の成績をCEFR対照表に基づいて点数化することや合否判定に用いることもしません。

*1. 大学入試センターが認定した英語4技能を評価する民間の資格・検定試験。

ケンブリッジ、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&R S&W

*2. 受験生の公正な受験体制の整備に関して、受験料負担や居住地による受験機会の公平性について考慮した結果、受験を一律に課すことは、受験生の公平公正な扱いを損ねる恐れがあると判断しました。

学校推薦型（指定校制）選抜の英文学科出願者には、これまでと同様に出願要件の一部としてCEFRのA2レベル以上を証明する合格証明書*3の提出を求める場合があります。

*3. 実用英語技能検定準2級以上

5. 調査書等の活用について

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜において、調査書の記載内容を合否判定に活用することはしません。これまでと同様、出願資格等の確認に利用します。又、入学後の参考資料として活用することがあります。

学校推薦型（指定校制）選抜では、調査書、身上調書（志望理由書）及び推薦書を活用し、面接において「主体性」「多様性」「協働性」並びに本学で学ぶ目的と意欲を確認します。

【本件に関するお問い合わせ先】

北海道武蔵女子短期大学 入試広報課
入試広報課（直通）フリーコール 0120-634-007